

高規格道延伸

佐賀までの完成予定は

事業実施環境が整い確定



やまさき まさお 議員
山崎 正男

た段階で確定をすると中村河川国道事務所より聞いている。

問 高規格道路は拳ノ川まで完成し、早期に佐賀までの完成が期待されている。幡多の玄関口として、より強く国交省に働きかけてほしいが、現状と今後の見込みを問う。

また、この関連工事で地元環境整備も取り上げてほしい。地域要望は国交省に届いているか。

答 森田 建設課長

現在、用地買収中の箇所もあり、完成に向け、円滑な事業実施環境が整つ

現状は、佐賀工区により工事用道路や橋梁工事等を施工中でトンネル工事も発注される予定である。今後、四国横断自動車道高知県建設促進期成会並びに近隣市町村と共にさらに連携を図り、国土交通省をはじめ関係機関に四国8の字ネットワークの早期完成に向け強く要望をしていく。

佐賀工区は5地区が周辺整備事業の対象地区であり、今後も、高規格道路の整備促進を図るため、関係地区から要望がある事業は高知県並びに国交省中村河川国道事務所と十分調整のうえ、周辺整備事業などを積極的に活用し進めていく。

漁業者対策

廃船補助は出来ないか

今後検討する

問 漁業を営む方は長年漁獲を糧に生活をされ頑張っている。長く使い込んだ船舶の廃船に町の補助は出来ないか問う。

答 今西 海洋林業課長

町としては、こうした船の再利用、後継者の育成を図り漁船の再活用を優先的に考えていくが、漁船の廃船の支援策について現状では漁協などの関係者と協議し、漁民の声が反映できるように、検討していきたい。

津波対策

避難場所に 屋根付建物を

ほとんどが 設置困難

問 避難場所に屋根付き建物設置が出来ないか。

簡易トイレも考えているか。

佐賀の東公園にも屋根付き建物は出来ないか。城山と願成寺の山に橋が出来ないか。出口地区の橋は地震で大丈夫か。避難に支障はないか。

答 徳廣 防災課長

屋根付き建物の設置となると建築基準法などの制約もあり、設置困難な場所がほとんどだ。一次的な避難場所での過ごし方は、地区との協議のうえ、避難場所の環境等について計画的に提示していきたい。

災害用トイレの必要性は感じている。避難場所にトイレを設置した場所には、個別に一人が入れるテントも常備、併設している。

公園区域内での屋根付きの建物は、地震津波対策を主要目的とした建物の設置はできない。避難後に対応する整備となり、緊急度、優先度、

費用の面から橋梁の設置は現状では困難と考える。

答 金子 まちづくり課長
橋梁の修繕は長寿命化修繕計画に沿って順次工事を行っていく。

松の下橋は、令和4年から令和5年にかけて、

設計、工事を行う予定。落橋防止については、設計時に検討が必要と考えている。残りの2橋については、修繕等の計画は出来ていないのが現状だ。



佐賀インター予定地